夕刊

七月四日 發行

親のこと (上)

佐野生

物心がついてくると、私は人間には男と女とがあるといふことに興味を持つた。不思議がつたといふ程のことではなくて何かはつきり理解出來ないものがあつてそこに興味があつたのである。その頃、私の氣の強い母親と、私の氣弱かな父親とは 理由は解らなかつたが 恣年までいさかつてゐるのが屢々あつた。私は別段その事を悲しいとは思つてゐなかつた。心配になつて起き出して行くことがあつても、私は襖を細目に開けるだけで、安心して寝床に入つてしまつた。火鉢を中に挾んで父親かも母親も歸然と坐つてゐるので、私には不吉な豫感は起きなかつたからである。細目に開けやうと思つても襖のその時の具合で開けすぎる事もあつたが、そんな場合でも何時もの母親よりも、數倍も優しい調子で子供は温なしく寝てるんですよ、と言はれるので、悲しいなど言ふ氣持ちは經驗しなかつた。

私は唯床の中で私流に考へてゐた。男と女だからだと考へてゐたのである。人間が皆な男だけならいゝのだと思つた。女だけになつたら、と考へ始めたが、それは不可能だと思つた。自分が男だからその方の場合は癡であつた。男だけになつたら困ることがあるだらうかと、色々考へて見た。御飯たきは爺やがするのを見てゐたから男でも出來ることになる。洗濯だつてそれほど六ケ敷くないことだから矢張り男にも出來る。掃除も買ひ出しも。結極女がゐなくなつても困ることは一つもなかつた。そんな色々な場合を考へてゐながら、母親が居なくなつたらとは一度も頭に浮んでこなかつた。大概はそのうちに寝むつてしまつた。

ある時こんな事があつた。私は突然起されだ。大分熟むつて居たようであつたが九時をまはつた許りであつた。

──信、父さんと汽車にのつて行くんだ。

枕元で父親が私の眼を見下してゐた。何時もの様子と何處か變つてゐるとは思はなかつた。

──さ、仕度くをするんだ

私は、何故か?とも、何處へ?とも聞かなかつた。親の言ふまゝに身の廻りのものをトランクに詰めた。私は何にも考へてゐなかつた。手を動かし乍ら、客間の方をチラッと覗くと母親は何もなかつたやうに、端然と座つてゐて何時もの場合と變りはなかつた。眞直ぐ前をぢつと見てゐるやうであつた。

だから、どうしても不吉な豫感はして來なかつた。父親の後から私も玄關に降りた。父親が默つてゐたから私も默つてゐた。私は靴をはきながら振り返つて母親を見た。今度は眞直ぐ横をぢつと見てゐた。私はそれでもまだ悲しいとも何とも思はなかつた。私は默つたまゝ後からとことこついて行つた。何か口を聞かうと思つてゐるうちに、なんだか息苦しくなつてきて默つたまゝでゐた。驛で九時何分かの汽車を待つた。父親は一言も言はなかつた

平局俳黎會 (二)

六月句會 互選句集

○春愁や灯おそき温泉の宿 石城
○春愁の膝により來る仔猫かな 同
○遠蛙野の面の風が綴り來る 碧笑
○汽笛それつきりの静寂は遠蛙ひそ〳〵 同
○遠蛙樹々のぞめきに紛らはず 同
○陽炎や銀翼キラッと旋廻す 同
○トーチカ銃眼ゆひらけし視界かげろへる 同

7月5日
△蒲生君平歿す(文化一〇)△新學雜誌發行停止令出づ(明治九)

○
生物には飢程恐ろしいものはない、食ものはなれた野犬が、猛犬になり狂犬となるのは唯一歩である 蘆花

講談

夜嵐お絹 [111]

悟道軒圓玉
筒井直衛畫

重い葛籠

おきぬは辨次の云ふ事をぢッと聞いてゐたが、

「酒井さんに舊惡があればとて、それを道具にお前はわたしを脅してお金を持つて行くのかね」

「道具につかふ譯では無ゑが、お前が泥棒は嫌ひだと云ふから、お前の亭主の酒井にもこれ程の惡事のあるとを話したのよ、それでも盗人は嫌ひだと云ふか」

おきぬは顋を襟に埋めて考へてゐたが、

「辨次さん、酒井さんに惡い事のあると知つてゐたがあの人は人を殺してお金を盗つたことがあるのかね」

「俺は見ては居ねわが、自然とそれを知ることになつた、なアおきぬさん、此事を役人に訴へて出ればあの酒井には細がかゝり人殺しの罪で重い御處刑をうけるそれに彼奴は官軍に手向ひをした彰義隊 どつちへ轉んでも助からねゑ茲に牛を馬に乗り換へて俺の言ふ事を背いたが宜からう、酒井が御用になれば、お前だとて助からねわせ、よく考へて見るが宜いよ」

おきぬは綺麗な手で顔にかゝる後れ毛を掻き上げながら、

「まア、酒井さんはそんな悪い事をしたかネ、百年の戀も覺めましたわ、辨次さん、お前と一緒に常所を逃げるが連れて行つてくれるから」

辨次は投げた網に、おきぬを生捕つたと喜び

「それでは俺と一緒に行くか、さう決心がついたならば早い方が宜い、吉右衛門や酒井が池上から歸らねゑ内に草鞋を穿くことにしやう」

「支度をするから待つておくれ」

おきぬは次の室に入り、衣類また手道具をまとめて葛籠に入れ、そつと裏口に出て重さうに持つて來たは大きな石、是も葛籠に入れ、蓋には錠を卸した

辨次は次の室を覗き

「オイおきぬさん、早くしなよ、彼奴等が歸つて來たらづらかる事が出來ねゑせ」

急ぎ立てる

「待つておくれよ辨次さん此の葛籠を持つておくれ」

「これか」

と云ひつゝ辨次は進尺に兩腕を通したが、

「これは重いや、大層目方があるせ、一体この中には何が入つてゐるンだ」

「わたしの着物と手道具さ」

「それにしても重いや、重い葛籠から出る物には碍物は無ゑ、舌切雀の昔噺にも重いつゞらは大入道が出るせ ドッコイショ」

やう〳〵腰を揚げて縁から庭に降りた。

「辨次さんチョット待つておくれ、何だネそんなに急いで、今お金を探して居るンだよ」

斯う言ひながら硯箱を引き寄せて鼻紙に筆を走らせ、それを簞笥の上に乗せて落ちぬやうに硯で押へた、是は豊之助に宛てた手紙です

「さア辨次さん、お金を探し出したよ」

「そいつは大出來々々々、山程あればとて邪魔にならぬは金ばかりさア出かけよう」

と辨次は庭から外へ出る

おきぬは吾妻下駄を穿き小褄を取り、晒しの手拭の姐さんかぶり

「辨次さん、川崎に知つてゐる人があるからそこへ一時落ち着く事にしやう」

「さうか、あんまり近い所に居ると知れるせ」

「燈臺下暗しと云ふこともあり、まさかにわたしとお前が玆から遠くもない川崎に居やうとは思ふまい。」

「辛抱して荷いで行つておくれ、おゝ危い、此處は道が悪いネ」

ヨロ〳〵蹌き、辨次にトンと軀をあて〳〵

「手を引いておくれ」

辨次はおきぬの手を取つたが、柔かな手だナ、俺とお前と道行をした事が酒井が知つたらさぞ憎むだらう」云ひつゝ鈴が森にかゝつて來たもう夜の八時過ぎ、北は池上南は海、上げ潮時と見えて、沖から打寄せる波は岸を洗ひ、パッと散る水玉、時しも七月十三日、月は東からさし昇り清い光りを下界に投げてゐる。

御婚禮着付
和洋結髪
パーマネント・ウエーブ
貸衣裳、貸かつらを御利用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院 平市新田町
(徒弟入用)

肺・肋膜・心臟・胃腸の弱い方に
血となり肉ともなる……
本場 生スッポンの「生血・生膽」を御勸め致します
スッポン
平市六丁目通り
生スッポン特約發賣 さかいや商店
發賣場 平市正月町一番地
スッポン黒燒、むし燒粉末もあります

登錄商標 家傳良藥 ゆでくすり ムテキ
一袋三十錢 二袋五十錢 五袋一圓
切衞洗滌等ノ苦痛ナク快癒スル理想的家庭療法藥ナリ
主治効能
ゆびはれ、きりきず、りんびやう、ばいどく
やけど、ちゝはれ、くさかさ
○毒ウミヲ吸出ス事ナリ
○凡そ膿を持つ疾患にお悩みの方に御試し下さい
製劑本舗 宮城縣 ムテキ商會
平市古鍛冶町十番地(縣社下)
代理店 阿康藥局 電話四十四番 振替東京三〇〇六五番
各有名藥店ニアリ

故障の起らぬ AK 原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目(警察署通り)
電話(呼出)166

本町通 三丁目 四丁目
中央通り
[illegible]

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板、建具材、ベニヤ板、木羽、便利瓦、建築木材一式
万 織田材木商店
磐城平市 電話平四六〇番
製材工場 磐越東線赤井驛前
(大作場二五) 電話三三五番

產科婦人科專門
根本醫院
平市南町
(入院隨時) 電話三四番

◇住宅地分讓◇

都心に近き保健境
平第三小學校東北方約二萬坪

金より物の時代
「安全の土地」

支那事變前では、投資家の投資物も種々雜多で、その向き向きに依つて、投資せられたものでありますが、事變の進行と共に各方面に於ける統制の强化は、全く自由に各方面への投資が抑制せらるゝこととなりました。その間に在つて殘されたる安全堅實にして、而かも至極有利なる投資としては、先づ第一に土地を擧げねばなりません。殊に最近に於ける跛行的景氣に依るインフレ傾向は、全國的土地投資熱が第一位と云つても過言ではないのであります。蓋し經濟界に於ける統制は、物價の抑制を招來してゐますが、獨り土地の價格には統制がなく、而かも遊資家の放出先に困つた投資が、期せずして土地に向つて來るのは、當然の歸結とも云ふべきであり、更に一面に於いて、事變終結に想を致すとき戰勝インフレの幕が切つて落さるゝこととなれば、産業界の殷盛と共に土地價の昂騰は期して待つべきものであると存せられます從つて古來土地に投資した者には、殆んど全部が數十割の利益こそ見れ、決して損失はないと云はれてゐるのも、宜なる哉と思はれるのであります。

大小各口の御相談に應ず
御希望の方は市内田町一九蓮沼方〔電話七八七番〕へ御問合せ下さい

採掘を試掘に繼續に變更

狂瀾を既倒に回した市の地下問題

けふ蓮沼副議長が報告

磐城炭礦出願に係る市地下(新川以南)採掘問題に就ては市會の歸趨必ずしもその軌を一にせず當面に或種の愛嬌性を孕んでゐたが、時はまさに此種の問題に沒頭した左右の評論横議を上下すべき場合でないに鑑みた蓮沼縣議は個人として去月六日磐炭本社を訪問、前川副社長、倉田專務、河合常任監査役、齊藤經理部長と會見

採業計劃上種々の都合あらんもさして當面の急を要せずとせば採掘を改めて試掘の繼續を云ふことに出來まいか、市としては敎育、衛生、銃後産業等重要な諸問題が山積して居る今日、此種の問題を中心として人心の離乖を來すが如き、時局柄誠に遺憾である

旨の衷情を披瀝したに對し會社側では大に之を諒とし『監督官廳に於て差支へなければ御期待に副ふ』と云ふ事になつたので氏は越えて十一日更に仙台鑛山監督局に横山 小西兩部長、中島登錄課長と會見、會社の意を傳へ此處亦妥當として該案を認めたので翌十二日縣に出頭學石山林課長及び關係技師の諒解を得た上二十三日各方面と折衝の經過を楢崎仙鑛局長に報告した結果、會社より正式申出づべき旨の指示あり、二十六日菅原磐炭總務部長が出仙監督局に正式申出で茲に平市地下採掘は試掘繼續に改むる事に決定したが、前記の斡旋により一時紛糾を豫想された該問題が狂瀾を既倒に回らし得たのは市として眞に喜ぶべきであり、當の蓮沼副議長から事の經過を本日の委員會に詳細報告する處あり、市會近來の和やかな氣分を漂はせた

農業平

ここにあり!

馬鈴薯評會に 目ざましい增産の跡

市農會の增産のかけ聲は馬鈴薯品評會に遺憾なく示された—昨三日の審査によるその成績

最高坪當り收量五貫二百匁(反當一、五六〇貫)株數一六で最低でも坪貫四百匁(反當七二〇貫)株數二十二を示し優に增産目標反當四百三十貫を突破して『農業平』の名を馳せた

品種は何れも奬勵種のメークインで今回の審査面積は合計二十七町七反一畝歩であこ、入賞者に對する褒賞授與式はこの外の分も併せ審査の上今秋行はれる豫定である

磐中 上級生は土工

今年も夏井川に就勞

校庭整理・身心鍛錬、勤勞作業等 等。大体前年通りであるが、四、五年の上級生は昨夏中實行して好成績を收めた夏井川の改修工事に就勞するをはしめ左記の通り全校生を擧げて一日の安逸をゆるさぬことになつてゐる

(一年)七月二十四日=二十七日校庭整理の勤勞作業、二十八日=八月九日鍛錬 武道 体操、作業等の鍛錬行事

(二年)二十四日=二十七日鍛錬、二十八日=八月一日勤勞、二日=九日鍛錬

(三年)二十四日=八月一日鍛錬、二日=六日勤勞七日=九日鍛錬

(四年)二十四日=三十日鍛錬、三十一日=八月六日勤勞、七日=九日鍛錬

(五年)二十四日=二十日勤勞。三十一日=八月九日鍛錬

蒙古の開發に獻身

自國皇帝の日本御來訪に 感激を語る季、金兩君

遙々友邦滿洲國から笈を負うて磐中に學ぶ季玉田(三二)金不識(二九)の兩君は同校三年一組に籍を置き引續き市內仲間町中柴同校敎諭宅から通學してゐるが今回自國皇帝陛下の日本御來訪に就は滿國に在る丈の特に感激を深うしこれを機會に日本の學生諸君と更に一段と盟友の契りを固め、將來は身を以て蒙古の開發に邁進すると交々語つて眉宇の間に如何にも新興國の若人らしい輝きを見せたと

磐女 防空濠構築や鍛錬=農事作業

休暇に入る早々全然解放氣分を味ふ暇無く、休み第一日目の二十一日から二十九日迄、最初三日間は一、二年生、爾後は三、四年生が出動 集團訓練として學校梅林地內た防空濠構築・足洗ひ場作製、縣社及び公園等の清掃にはしまり、八月六日から

出場の新鋭古剛 七十組を突破か

庭球大會盛況を豫想さる

既報石城軟式庭球協會主催の第九回關東北大會は愈々來る七日の日曜をトし磐中コートの炎天下に行はるるが參加申込み中には鐵道省、東京鐵道局、中央大學、北魚市場、仙鐵、善松協會の四組等遠來の各チームに地元を加へ、前回の五十六組を遙かに突破し。總數七十數組に上る豫定で新鋭古剛入り亂れての接戰は地方空前の一大豪華繪卷を展開すべく主催側の協會根本武雄氏以下大に張り切つてゐる

軟式野球戰

讀賣新聞主催

來る七日豫選試合

讀賣新聞社主催市後援の同社寄贈優勝旗爭奪第一回通り軟式野球大會は來る七日の日曜をトし午前九時から平工 第一小學校兩校庭に於て爭、石城、豫選を、二十一日決勝戰を行ふこ

この點改善せよ

常會の活動を前に

市で心得書配布

既報、精動運動の實踐網擬たる常會を活動せしむることゝなつて市では近くその準則案を示し、確たる陣容を整へ益々上愈々本格的活動に乘り出すが常會には三十戶乃至四十戶を統轄する班長の下に隣接五戶乃至十戶を受持つ組長を置き緊保團結、自治に協力し生活の向上をはからうとするものこの活動により今後時間勵行、應召遺家族及び前線將兵の慰問、自治認識と公共奉仕援助、納稅思想の向上、道路及び下水清掃等の勤勞奉仕、葬儀の改善、廢品愛用、學校家庭の連絡、國民體育の向上等の實行獎勵に努むること

實行の機關

市當局で語る

常會の活動を前に市當局では語る

實生活に即した機關として充分意見を交し決定したことは各自が責任を以て實行しなければならぬ今後每月の會合でお互が打ち融け合ひ國策順應に心掛ければ其間得る處益々絶大なるものがあらう

家庭婦人をも動員

平と植田で實踐協議

節米、供米、增産、貯蓄、金買却など精動が國策順應の緊急事としてゐる諸問題の遂行には家庭婦人の協力にまつところ大きいので縣では左記日割で愛婦、國婦、女靑、中女學校、小學校町內會代表と協議懇談の上これらの指導により各部の實踐徹底を期する方針であると

△七月十一日市公會堂(平)△廿四日平市公會堂(飯野、夏井、高久、豐間、鹿島、內郷、好間、神谷、草野、大浦、四倉、赤井、永戶組合、三阪同上小川組合同、川前、大野)△廿五日植田校(渡邊、植田、小田、錦、勿來、上遠野、入遠野、川部、田人組合、江名、小名濱、玉川、磐崎、湯本)

斷じて安逸を許さぬ

勤勞作業其他に尊い汗を体驗

市內中等校の暑休行事

昨今血みどろの苦闘を續けてゐる學期試驗の大試練が終ると來る二十一日から市內各中等學校は一齊に暑中休暇に入るが、この期間中に於ける行事は、体位向上の見地からは勿論時局柄一入の緊張を咬る意味に於て尊い汗の体驗に最も力強く之を行ふ事に大体のプランが出來た

十三日迄は農試分場の除草校庭整理、校內空地を利用し學年主任を中心に薯、大根等の農耕に從事し、爾後十九日迄各家庭に在つて身心鍛錬、二十日から二十九日迄出校再び集團訓練及び各學年別に遠足、登山等に終始一貫の張り切りを見せると

軍用保護馬鍛錬會

市軍用保護馬鍛錬會では去月七日檢定檢査合格馬が新に加入したので明五日午前八時から市內八幡小路元磐中グランドで古參馬を加へ初訓練を行ふ

投網漁業許可

市內鐵道官舍秋田祥吉、大石龍雄兩氏出願のアユ、鮒、ボラ、鯉など投網漁業は此程許可された

平商 公園の池さらひ

耐熱行軍=校庭整理

一日骨休めをする丈けで二十二日には全校生の耐熱行軍(行先未定)を敢行、二十三日から一週間の勤勞作業に入り一、二年は花壇作成堤防修理その他の校庭整理に、三、四年生は公園の池浚渫に從事し來月中更に一週間の勤勞作業を繰り返すが內容は未定である

工業 新校舍敷地の地均しその他目下夫々計劃中であると

今度は五十匁配給

切符制第二回の砂糖

切符制實施の砂糖は去月中三十匁の第一回配給を行つたが第二回分は近くその殘餘五十匁を、更に今月下旬に今月分を夫々配給すべく準備を進めてゐるので市民もこの旨留意の上配給の日を待たれるやう市當局で望んでゐる。

町村敎育總會

郡第二區町村敎育總會は六日午前十時から小名濱小學校に開き國民學校其他につき協議講演を聽く

想起せよ!この日

記念式、祈願祭や講演など

市の事變記念日行事決る

來る七日、三たびめぐり來る事變三週年記念日に際し市で、當日午前八時公會堂で記念式典を擧げ、同九時十分千鍬倉、飯野八幡兩縣社で祈願祭を執行して今事變の目的を再認識、長期持久戰に對する覺悟を深めら外午後二時からは公會堂で陸軍步兵中佐高山正一氏の講演を一般に公開、市民の時局意識を強調し、また縣社からの通牒に基き左記事項の徹底をはかることゝなつた、なほ正午一分間は例によりサイレン、梵鐘で默禱を合圖する

一、各戶國旗を掲揚のこと

一、各家庭とも黎明に起床打ち揃つて皇太神宮を奉拜皇室の御安泰を祈り國威伸張を祈念すること

一、正午一分間戰歿勇士に默禱

一、學校、團体、會社、工場では支那事變一周年に賜りたる勅語並に紀元二千六百年紀元節に賜りたる詔書の捧讀式擧行

一、當日の記念諸催し席上能率增進、增産勵行、銃後援護、節米實踐、貯蓄實行の申合せをなすこと

一、戰歿者の墓參

一、戰歿者遺家族、出征家族慰問

一市民獻金

一市民として第十一回一圓獻金が今月も市役所に寄託され

玉川村葬

玉川村出身海老根幸准尉の村葬は來る八日午後一時から同村小學校に於て執行する

老婆溺死

三日午前八時頃夏井村腰卷地內貯水池に老婆の溺死体あるを同村箱崎湧さんが發見、平署で檢視すると草野村山の內農齋藤みつ(七〇)で三年前夫に死別後精神に異狀を呈しあちこち徘徊するうち轉落したものらしい、死後四日程經過してゐると

訪松原貞治君

瑞雲 小野務平

披襟談舊雨
偶座意悠々
園廣秋方好
黃秋滋以幽

拈華微笑

市地下採掘を試掘に模樣替ね。會社、官邊、市三位一体の快ヒツト

□

萬事この大乘的算法で時局に善處せば世上の波紋は少くなる

□

良い意味での『どつちもどつち』清風腋下に生ずるの概

□

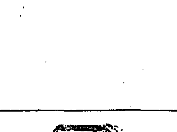
綺麗薩張りに率先垂範、これでこそ吾人の信頼する市會だ

□

昨日に優る暑さ。鋪道を喘ぎ行く犬の舌紅なり

五日 (小名濱測候所調)

滿潮 前二、五〇 後五、二五 干潮 前一〇、二〇 後一〇、二五



新七月五日 金曜 舊六月二日 己酉 平 婁宿

△一白 眞面目にして外を飾らず內に勵めば大吉日△二黑 力を恃らず進み過ぎて却つて失敗を招く日△三碧 運氣開發の良日なれども感情の衝突は注意△四綠 迷ひのくもに閉されて進退の自由を得ざる日△五黃 秩序を大切に變化に當り動ぜざる樣すべし△六白 平和を保つが第一口舌は後の禍ひを引起す△七赤 榮華を夢みるよりも內を整ふるが安全なり△八白 調子能く行くかと思ふ間もなく躓り易き日△九紫 目上の引立は十分あれど依頼心を起す勿れ

天氣豫報 (小名濱測候所觀測)

今晚 南東の風晴 夕立模樣
明日 同

興ダイヤペン付 ウエル萬年筆 二CC以上

商工省主催の代用品工業振興展覽會』出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品

代理店 魁文堂 電話三三一

外務員を募る

最も好適な職業として住友の保險勸誘をお奬めする

住友生命は住友本社直系の基礎鞏固經營確實信用絶大なり

無經驗の新入社員には講習會を開いて懇切指導

今や募集陣容大擴張の眞最中で服く新進奮鬪の士を求めてゐます

詳細當事務所に御問合せ下さい

平市四丁目三二

住友生命保險株式會社 平事務所

開院廣告

內科 外科

平市六丁目

叶多醫院 電三九二

內臟外科 泌尿器科 レントゲン科

北川外科

醫學博士 北川芳夫

◎入院隨時 平市新川町(電四六四番)

宴會、御婚禮、仕出し

割烹 尼子亭

お湯の設備あり……公園內 電話一二三〇番

女中さん至急入用

內臟外科 整形外科 胃腸 性病

內臟外科 脳脊髓病科 外科

整形外科 レントゲン科 理學療法科

內科 胃腸病科 肛門病科

花柳病科 皮膚科 泌尿器病科

醫學博士 松村亨

醫學得業士 松村鐵郎

平市南町 電一〇七

松村醫院